

# 水舟集落の地域活性化

活動のアップデートと集落情報の発信

宇都宮大学 里計画研究会

(「大学生等による地域づくり支援事業」による交流継続)

2019.2.9

平成30年度大学生事業活動報告会



みずふね  
水舟集落の  
自然と笑顔  
に触れよう



二本松駅から車で約25分

## 1.1 水舟集落の基本情報

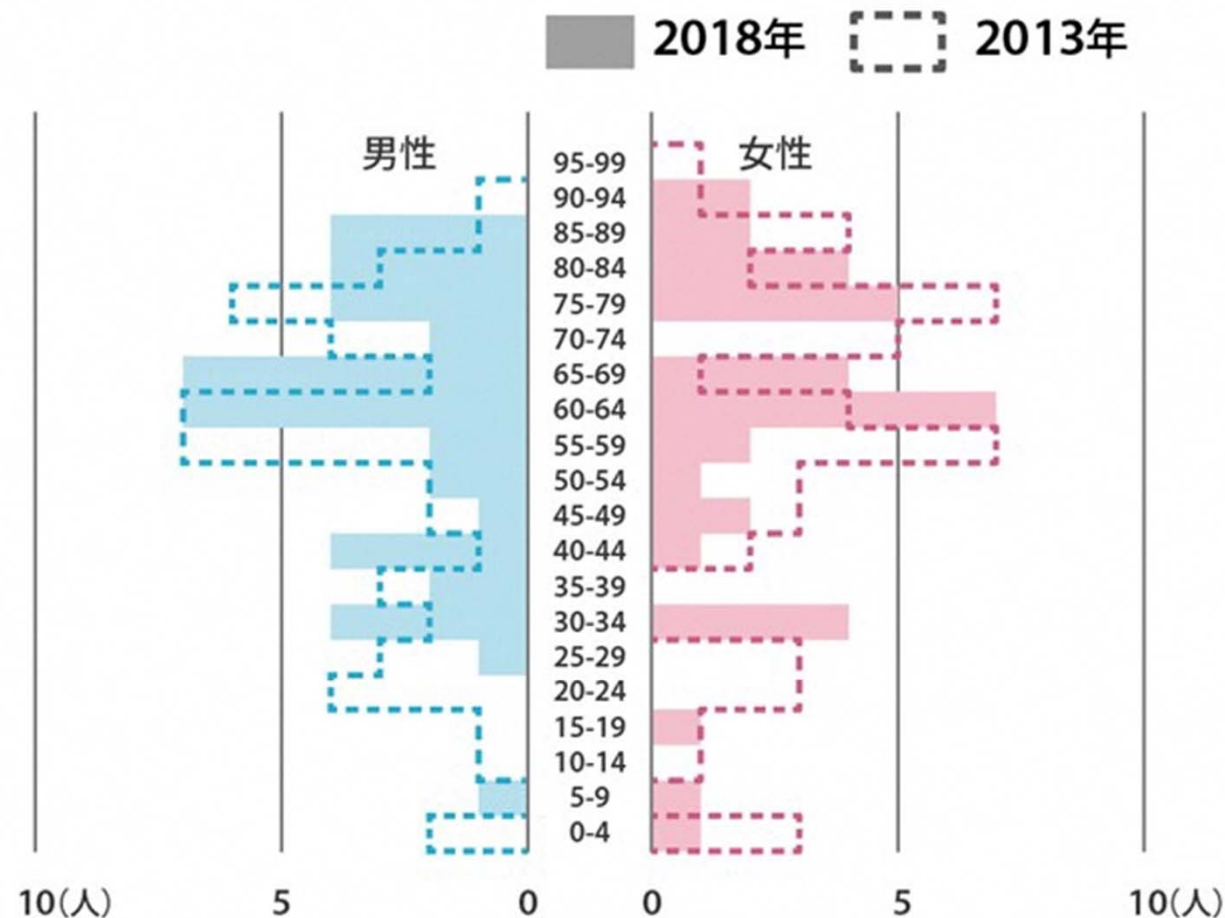
所在地	福島県二本松市 水舟集落
主な産業	農業(稲、エゴマ、ツルムラサキ、大豆、えんどう)
地理	福島市内への通勤・通学が可能



## 1.1 水舟集落の基本情報

2013年→2018年の人口推移(アンケート調査による)

55歳以上が62.1%を占める→準限界集落

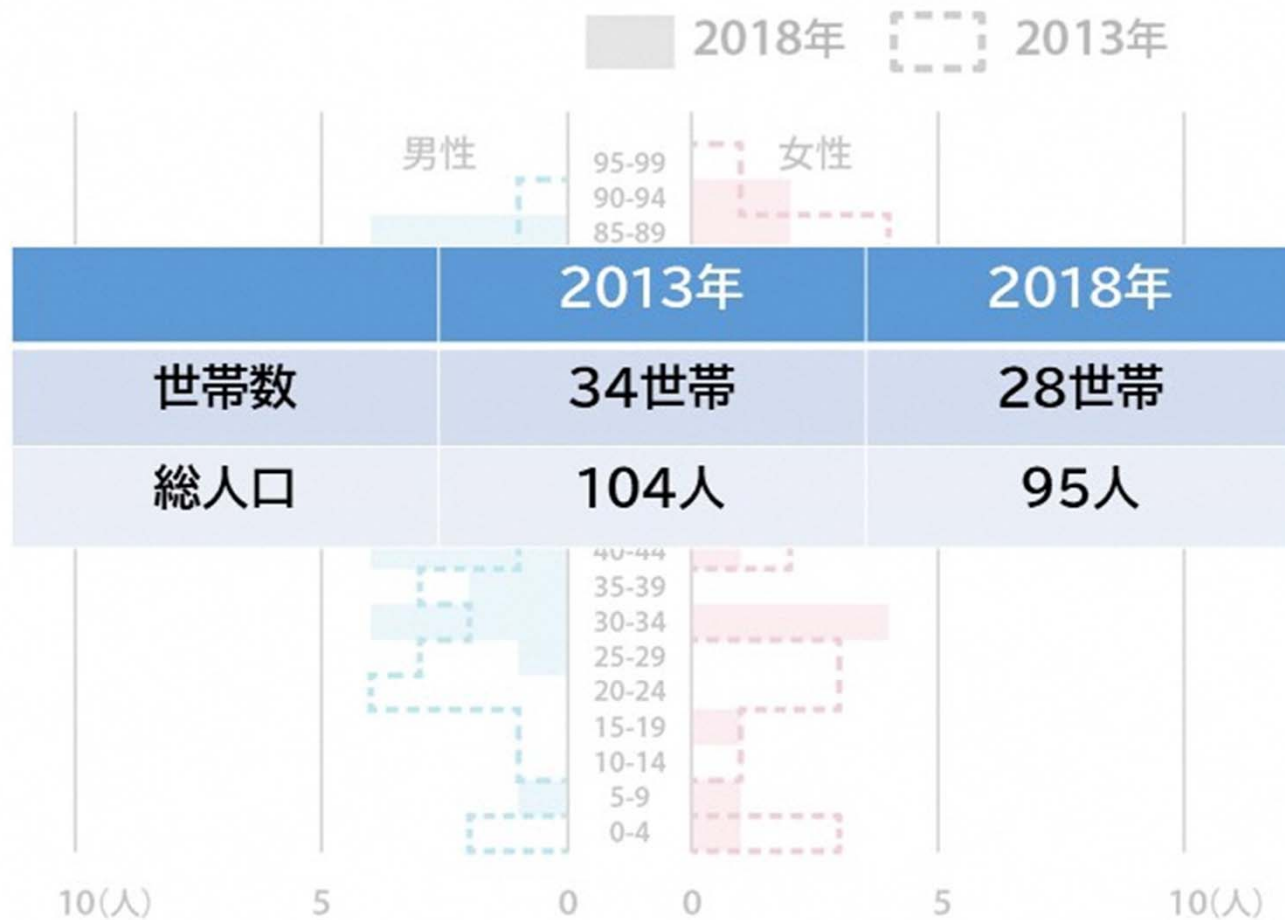




## 1.1 水舟集落の基本情報

2013年→2018年の人口推移(アンケート調査による)

55歳以上が62.1%を占める→[準限界集落](#)



## 1.2 宇都宮大学 里計画研究会について

### 研究会の発足

「大学生の力を活用した集落復興支援事業」(H25～H26)の補助を受け、  
2013年、集落との交流開始とともに発足

活動の目的: 集落活性化策の提案や、都市農村交流の促進

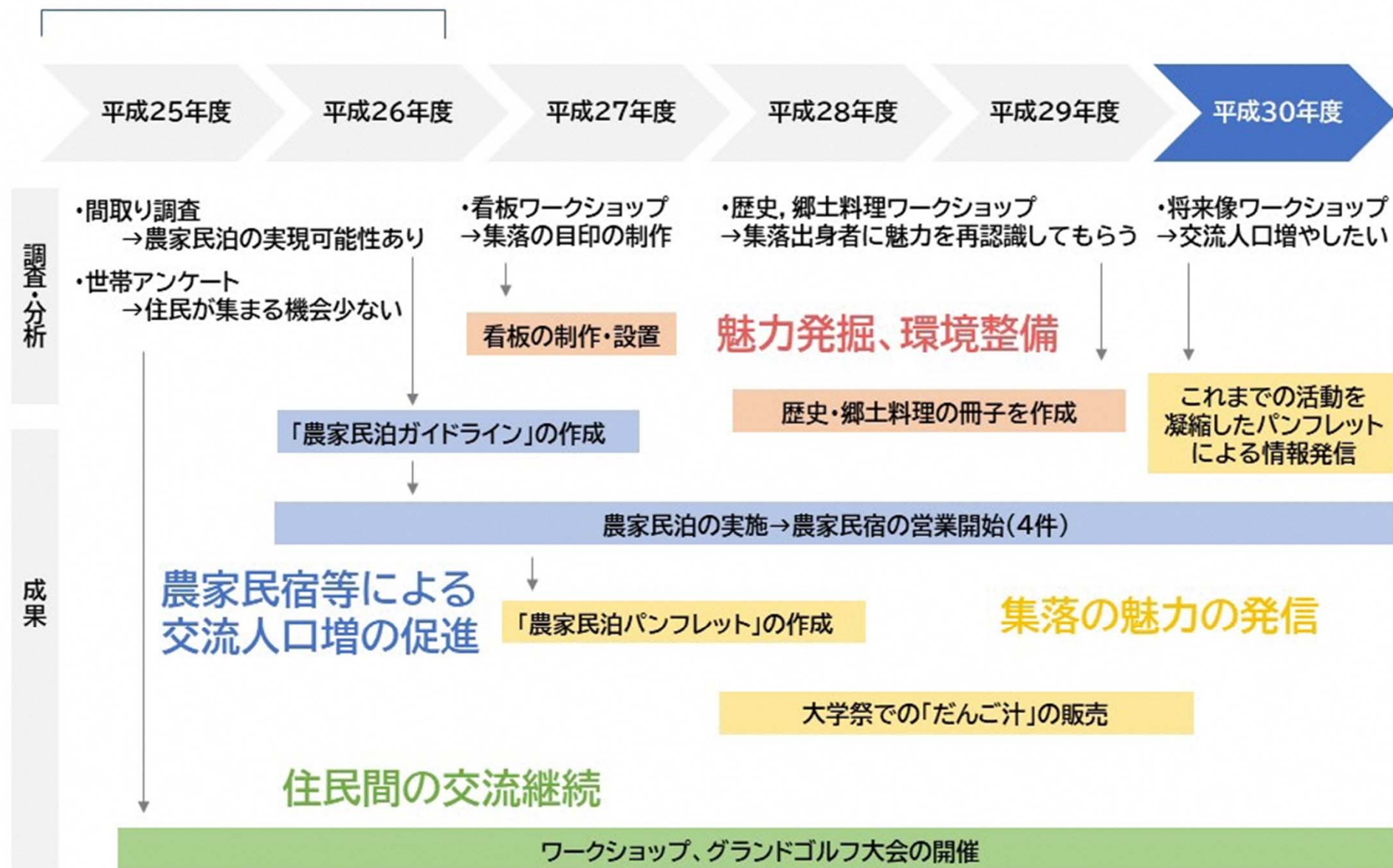
### 研究会のメンバー

- ・構成員は「宇都宮大学 建築計画研究室」に所属する学生・教員・職員
- ・研究の分野: 都市計画, 農村計画, 建築計画



# 1.3 これまでの活動の経緯

大学生の力を活用した  
集落復興支援事業





## 1.3 これまでの活動の経緯

### 1) 住民間の交流継続

ワークショップの開催(年2回)



グランドゴルフ大会の開催



## 1.3 これまでの活動の経緯

### 2) 農家民宿による交流人口増加の促進





## 1.3 これまでの活動の経緯

### 3) 魅力発掘、環境整備

看板(お散歩マップ、巨石マップ)の設置



## 1.3 これまでの活動の経緯

### 4) 魅力の発信



#### 冷汁

夏の暑いとき、食欲が落ちないとか、  
おなかが空くと食べると美味しいです。  
昔の人の知恵です。  
色々な野菜を入れてアレンジする  
のも楽しいですね！！



#### 材料

ナス キュウリ  
しそ ミョウガ（お好みで入れる）  
じゅうねん（エゴマ）  
みそ しょうゆ



#### つくり方

- ①キュウリ・ナスをいちよう切りにする。
- ②切ったナスはアクを取っておく。
- ③じゅうねん（エゴマ）をする。
- ④水を加えて調整する。
- ⑤しょうゆ・みそを入れる。



郷土料理の冊子

#### 水舟集落の歴史



歴史文化の冊子



## 2.1 今後の目標

### 1)5年前の活動から継続している大きな目的 → できたこと

集落活性化に向けた住民交流、都市農村交流の促進

- (1)住民の集まる機会をつくること → ワークショップ、グランドゴルフ大会の開催
- (2)集落が自立し、集落外の人たちと関わることで活気のある集落形成 → 農家民宿、交流人口
- (3)今後も地域資源を活用した長期的な活動を継続すること → 看板制作、歴史・郷土料理の発掘  
→ だんご汁の販売



### 2)上記のなかでまだ取り組みが必要な点

- (1)住民の集まる機会をつくること
- (2)集落が**自立**し、集落外の人たちと関わることで活気のある**集落形成**
- (3)今後も地域資源を活用した**長期的な活動**を継続すること



### 3)今後の目標

- (1)これまでの活動を踏まえ、自立した**将来の活動**にむけた計画、**文化継承方法**を検討
- (2)集落周辺地域との連携した活動を検討する。



## 2.2 今年度の目標、活動方法

### 1)今年度の目標

これまでの活動を踏まえ、自立した**将来の活動**にむけた計画、**文化継承方法**を検討

### 2)目標をブレイクダウンした3つの目的

#### (1)住まい方・文化の継承方法の検討

「**水舟の未来**」を住民のみなさんとともに考える。

住民のみなさんの意識などを反映しながら、将来の住まい方、集落の文化が継承されていくような仕組みを検討する。

#### (2)農家民宿の有効性検証、経過調査

推進してきた民泊事業の実態(利用者数の推移・住人の意識)を明らかにし、今後の家民宿運営に寄与する知見を得る。

#### (3)掘り下げた文化や魅力の発信

集落の文化・魅力を発信するための、有効な方法を検討、実施する

## 2.2 今年度の目標、活動方法

3)活動方法 現地入り:8月25-26日、11月24-25日

### 活動1

5年間の活動による変化を調査するアンケートの実施  
10月に実施。5年前と同等の内容で実施し、変化を考察

### 活動2

「水舟の未来を考える」ワークショップ  
夏:私たちの住宅の使い方を考える  
冬:集落域全体の将来像を考える

### 活動3

農家民宿実施宅さまへのヒアリング、実態調査  
ヒアリング:お客様数の推移、日常生活への影響  
実態調査:お部屋や家具の使い方の変化などを把握するための実測調査

### 活動4

グランドゴルフ大会、昼食会での交流継続  
その他、イノシシ被害防止の座談会参加

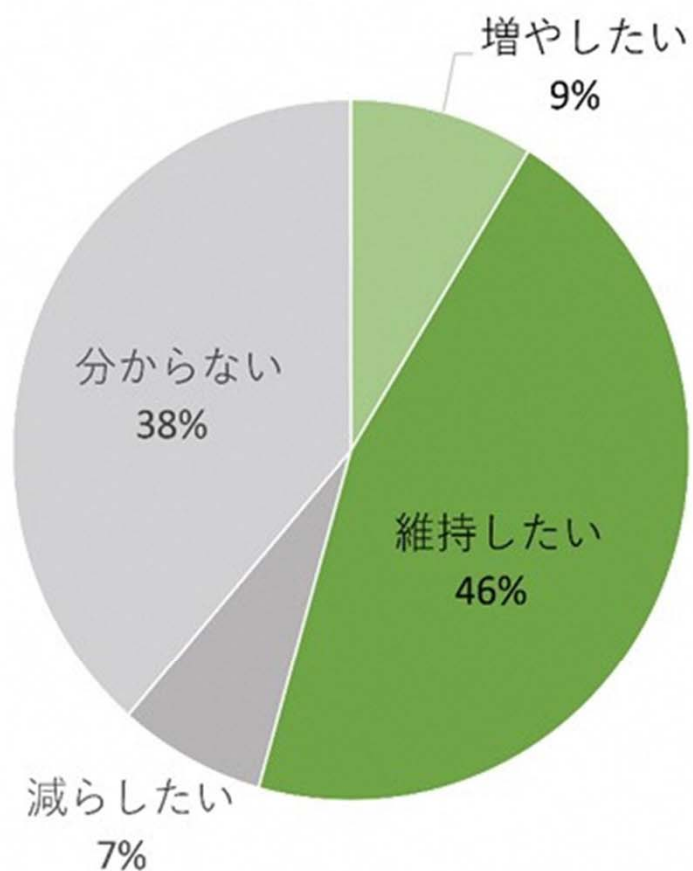
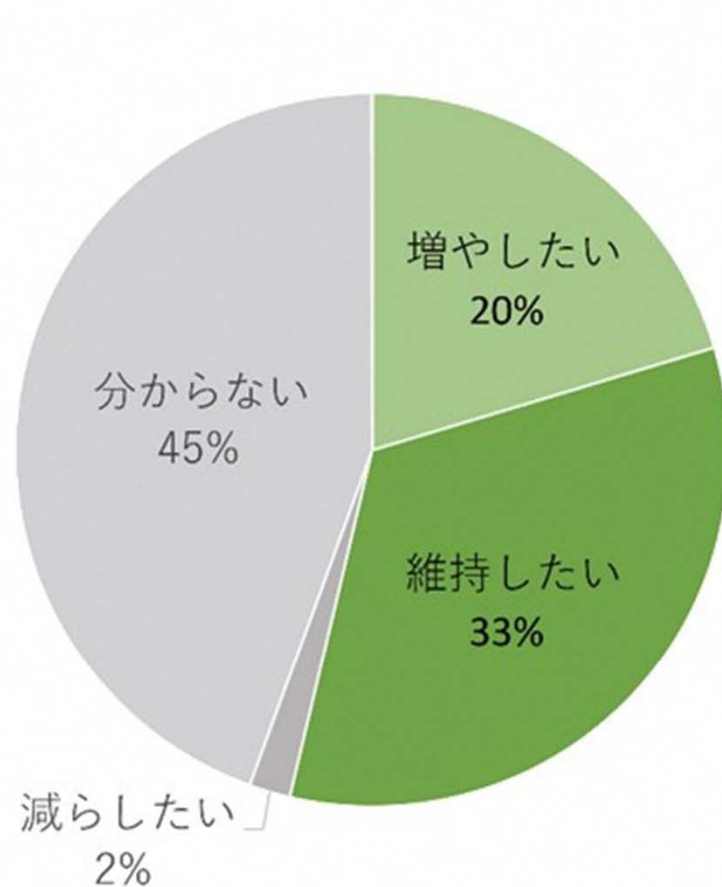
### 活動5

集落広報パンフレットの作成  
主に過去3年で発掘してきた、郷土料理や歴史等の集落外への発信  
→パンフレット2000部を作成済み、集落内外へ配布

### 3.1 アンケート結果

活動1

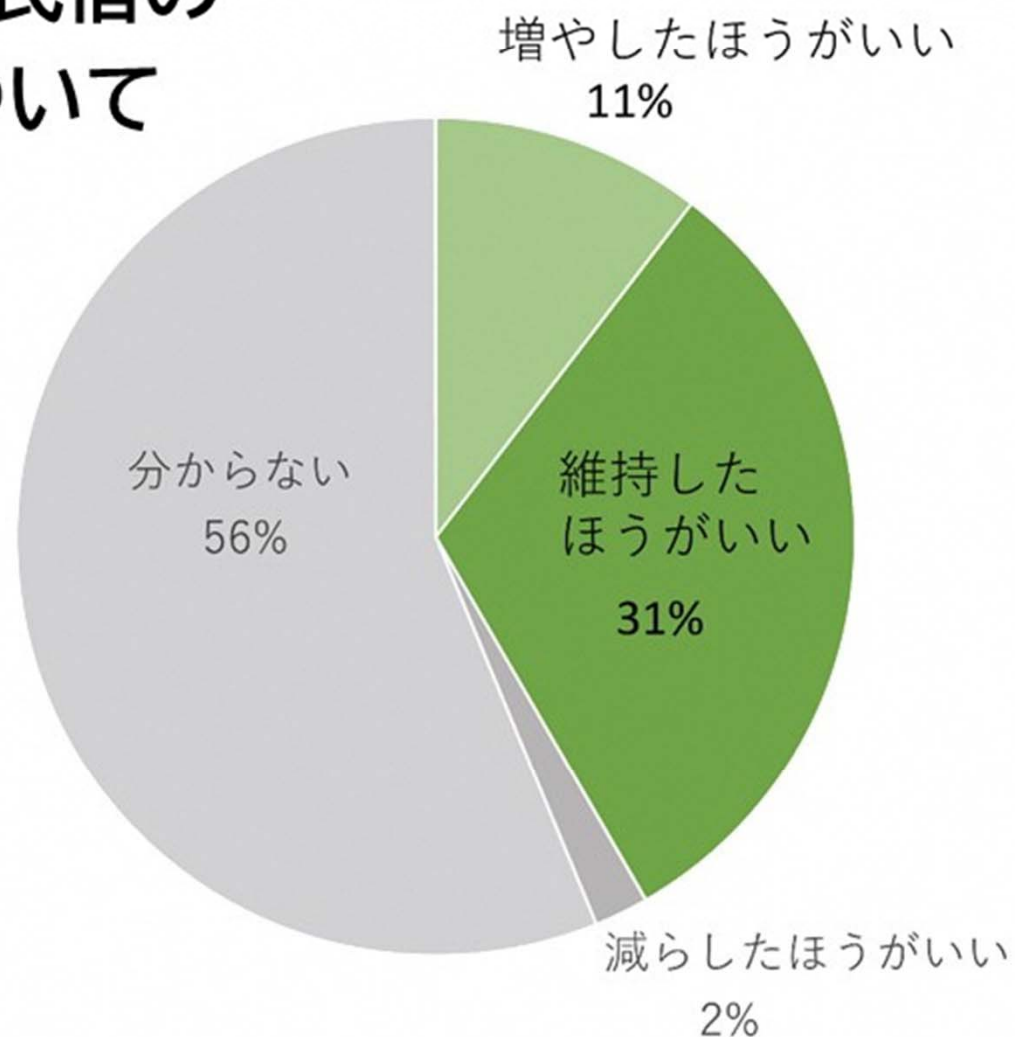
## Q)今後の住民との交流    Q)今後の外部の団体や人々との交流





### 3.1 アンケート結果

#### Q)今後の農家民宿の 宿泊者数について



## 3.2 「水舟の未来を考える」ワークショップ

### 活動2

### 1)夏:住宅編

みなさんのお住まいを今後どのようにしていきたいか伺い、掘り下げた。  
選択肢として、3つをあらかじめ準備し、議論した。

- (1)自分で決めたい
- (2)子供の世代に住んでもらいたい
- (3)なるようにするしかないと思う

お一人様1枚お取りください | 水舟区 × 宇都宮大学 里計画研究会 2018年度 #001

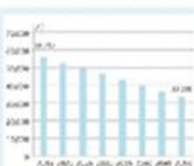
## 水舟の未来を考える会

住宅編～私たちの家はこれからどうなるのか～

昼食会 12:00~13:00 | 参加費 300円/人  
第1部 13:00~13:15 | 背景・趣旨の説明  
第2部 13:15~14:00 | ワークショップ  
第3部 14:00~14:30 | 発表・意見交換会  
8/26 (日) 12:00~14:30  
会場:水舟分校体育館  
参加費:300円(昼食代)

**現状** 集落の小規模化・高齢化は全国で少しずつ進んでいます。

- ▶ 集落の継続の小規模化、人口の高齢化は、全国の集落で課題と なっています。
- ▶ これまで、歴史や郷土料理のワークショップを渡し、住民の皆 さん同士が顔を合わせ、交流の場を築けることができました。
- ▶ これからは、課題や課題を見つめ、未来に向けて結束力を醸成し、 実行していくことが重要と考えました。



**ご準備** 下記から1つご選択いただき、会場にご持参ください。

※当日のグループ分けの参考にさせていただきます。  
※お一人様1枚お持ちください。

グループ

**A** 自分たちの家のことは  
自分たちで決めたい。



グループ

**B** 自分たちの子どもの世代に  
受け継いで、住んでほしい。  
(子供が住むのを望んでいきたい。)



グループ

**C** なるようにするしかない。  
その他・わからない



## 3.2 「水舟の未来を考える」ワークショップ

### 活動2

#### 1) 夏：住宅編

みなさんのお住まいを今後どのようにしていきたいか伺い、掘り下げた。  
選択肢として、3つをあらかじめ準備し、議論した。

- (1)自分で決めたい
- (2)子供の世代に住んでもらいたい
- (3)なるようにするしかないと思う

結果として、「子どもたちに受け継いでほしいが、強制はできない」など、  
複雑な心境、声が寄せられ、普段は語られない思いを語っていただけただけに意義があった。





## 3.2 「水舟の未来を考える」ワークショップ

### 活動2

#### 1)冬:集落編

夏季WS → 集団営農など、集落全体への提案

アンケート→集落機能を現状維持したい

この結果をもとに今後水舟集落を維持していくために必要なものについて議論した。

#### 結果

A:第6次産業化、地域ブランドの確立(珍しい野菜?)

B:農業・地域の文化を体験してもらう

C:集落の維持のためには、住民の健康がまずは大切 → エクササイズ教室



### 3.3 農家民宿実施宅さまへのヒアリング、実態調査

#### 活動3

#### 1)ヒアリング調査

- 1世帯約15人～50人どの世帯とも徐々に増えている
- リピーターができた。
- 中学生の体験ツアーを行ったり、留学生18名を受け入れたりするときは、4名程度に分担して宿泊





### 3.3 農家民宿実施宅さまへのヒアリング、実態調査

#### 活動3

#### 1) ヒアリング調査

宿泊者増減	増えた(日本全国から来ている)	増えた	冬は少ないが、夏は増えている	徐々に増えた
年間宿泊者数	30~50人(外国人もいる)	約15人	20人	30人(2018年には中国、ベトナム、マレーシアの留学生が来た)
年齢層	20~80代(20代が多い)	中学生から~82歳まで(宇大生・官僚なども)	中学生/人事院の研修/会津大の留学生/年配は年に1名/ロードレースの方	20~80代(東京・大阪の人がくる)

民宿実施後の意識変化	前向きになった	宇大生が来たことでみんなと話し合うようになった	前向きになった/大学生や子どもがいると人が集まる	前向きになった(親戚も)/毘沙門様の整備、杉を切って花を植えたり、東屋をつくったり
民宿実施後前向きになった理由	水舟集落の活気が薄れていたが、大学生と交流したことで前向きになった/外部の人と交流することは不安だったが、外国人が増え前向きになった/現金が入ることになり、勉強等前向きになった	民宿が始まって集落全体が話し合う機会ができた、前向きになった	外部の人と交流することは不安だったが、リピーターが増え前向きになった	大学生と交流し、民宿を始めてから外部の人と交流したこと
民宿と評価や地域活性化のつながり	水舟で毎月(3月から)1泊2日で5戸に来ている/	もう一度来てみたい客がいる	宿泊者が一度だけでなく何回か足を運んでくれたら嬉しい	集落内の交流が増えて前向きになった
外部と関わったことによる集落活動の変化	役員会頻度 住民の交流頻度 外部との交流内容	増えた 増えた 県の補助事業/新聞社の取材	増えた 増えた 増えた 増えた	増えた(1年に0回→5・6回) 増えた
民宿に対する思い	不安の中で受け入れていった	変わらない(心構えができていないわけではない/客が遠慮しない心配)	最初は気を遣ったが、食事などを楽しんでもらえればよく、儲からなくてもよい	最初は嫌だったが来る人は拒まず
民宿の経営で不安	外部から来た人に対してどのように接客すればいいかわからない/家事の量がいつもより多くちゃんとこなせるか心配だったから/人によって食事の好みが違うので口に合うか心配だったから	家事の量がいつもより多くちゃんとこなせるか心配だったから	家事の量がいつもより多くちゃんとこなせるか心配だったから	外部から来た人に対してどのように接客すればいいかわからない/家事の量がいつもより多くちゃんとこなせるか心配だったから/人によって食事の好みが違うので口に合うか心配だったから
将来のことで不安	民宿をいつまで続けられるかわからないから	民宿だけでは集落の現状は変わらないと思ったから	民宿をいつまで続けられるかわからないから	民宿をいつまで続けられるかわからないから/住宅や土地を次の代に引き継ぐとき民宿を実施することで迷惑がかかるのではないかと
民宿に関して今も不安なこと	いつまで続けられるかわからない/後継者不足であること	家事が大変	自分たちはいつまで続けられるか。あとは娘と一緒に引き継いでいきます	若いお客さんが朝食をあまり食べない/お風呂が小さい

#### 結果の一部



### 3.3 農家民宿実施宅さまへのヒアリング、実態調査

#### 活動3

#### 2) 実測調査

民泊を実施している御家庭において、  
間取りや周辺環境の実測、各所室の現在の使い  
方をヒアリングし、民泊事業の前後で、各所室の  
形状や用途の変化が起きたかを考察していく。



### 3.3 農家民宿実施宅さまへのヒアリング、実態調査

#### 活動3

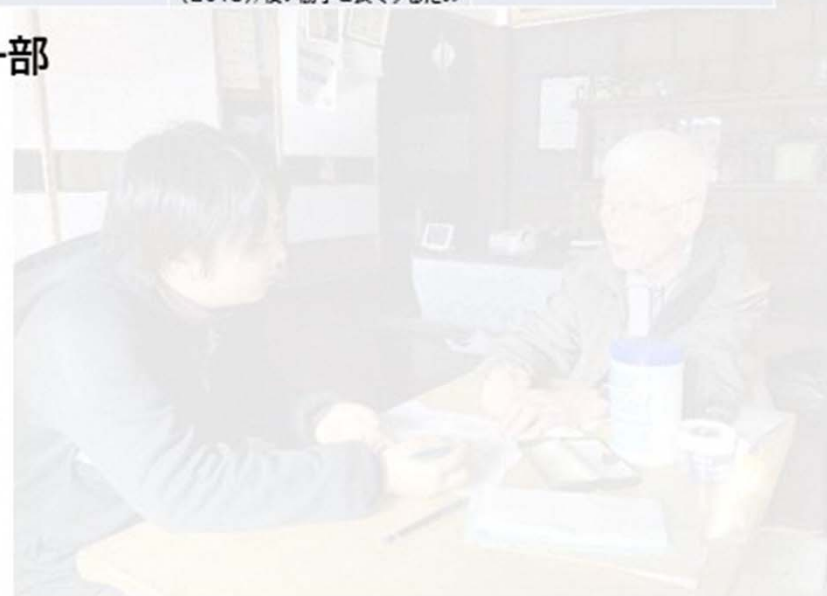
#### 2) 実測調査

民泊を実施している御家庭において、  
間取りや周辺環境の実測、各所室の現在の使い  
方をヒアリングし、民泊事業の前後で、各所室の  
形状や用途の変化が起きたかを考察してい



使用方法の変更	改修箇所/変更年/改修した経緯	水道(2016)地下水との分離	トイレ(2014)民泊のためお客さん使用のトイレにした/浴室(2015)民泊のためお客さん使用の浴室にした	リビング(2016)昔ながらの家なのでお客さんがくつろげる部屋がほしかった(一部が老朽化していた)	台所・洗面所(2016)築35年が経ち、床や水回りなどあちこち傷んでいたから・改修補助金をもらったから
	設置物の変更箇所/変更年/変更した経緯	火災報知器(2016)各室に新設/設置義務	火災報知器(2014)各室に新設/設置義務//エアコン(2018)客室2室/民泊客が来るから//ファンヒーター(2014)客室4室/民泊客が来るから//トイレ・洗面所(2017)/民泊客が来るから//手すり(2017)/昇降を楽にするため	火災報知器(2013)客用寝室に設置/設置義務//エアコン(2016)リビング/民泊客が来るから//消火器(2013)/設置義務//IH(2017)/若い人が使いやすいから//寝具5組(2016)/民泊客が来るから//風呂(2014)/大きい風呂がなかったから//ボイラーを石油に変えた(2018)/使い勝手を良くするため	火災報知器(2016)客用寝室/民泊客が来るから//カーテン(2016)外廊下/古くなり保健所の指導のもと//寝具3人分・食器(タッパー)(2018)/民泊客が来るから//手すり/おばあちゃんのため

#### 結果の一部





### 3.4 グランドゴルフ大会、昼食会での交流継続

#### 活動4

#### 1) グランドゴルフ大会

今年度についても、学生と集落の方の交流の場としてグランドゴルフを実施。

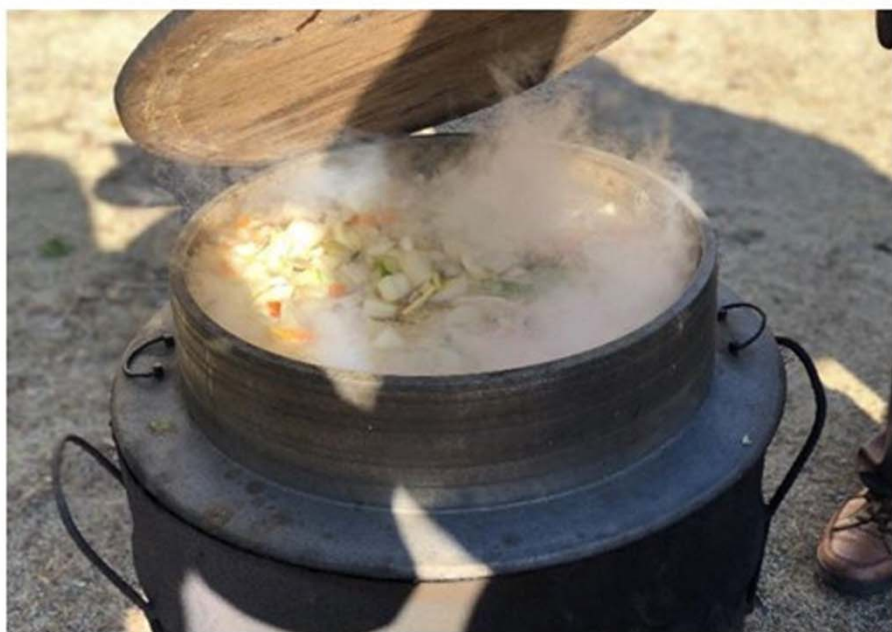
今年度は、里計画研究会からも上位入賞者が多く現れ、健闘した。





### 3.4 グランドゴルフ大会、昼食会での交流継続

#### 活動4





### 3.4 グランドゴルフ大会、昼食会での交流継続

#### 活動4

#### イノシシ被害防止の座談会に参加

農村集落が抱える課題を認識する機会を得た。

右図のように、イノシシによる農作物の被害箇所を共有するワークショップが、住民間で開催されていた。



### 3.4 グランドゴルフ大会、昼食会での交流継続

#### 活動4

#### うどん打ち

うどん打ちを体験させていただいた。

特に均一な太さに上手に切るのが難しく、不格好な形状のうどんとなったが、自分で体験してつくったうどんは、思い出の味となった。





### 3.5 集落広報パンフレットの作成

活動5

水舟集落をPRするパンフレットを作成

A4巻き4つ折り

発行部数:2000部

【設置場所】

- ・福島県観光物産館
- ・日本橋ふくしま館 MIDETTE
- ・道の駅「安達」上り線、下り線
- ・道の駅東和あぶくま館
- ・ウッディハウス東和
- ・東北サファリパーク
- ・あぶくま洞
- ・安達ヶ原ふるさと村
- ・スカイピア安達太良 他



みず ぶね  
水舟集落の  
自然と笑顔  
に触れよう







交通 J R 東北本線・安遊駅、山形駅よりタクシーで約 15 分  
 ○東北本線・二本松駅よりタクシーで約 25 分  
 お車の東北自動車道・福島磐城スマートインターより約 15 分  
 ○東北自動車道・二本松インターより約 25 分  
 各駅からの送迎については、各宿泊先にご確認ください。

お問い合わせ  
 水舟区長 村田義正(むらまつ・よしまさ)  
 〒964-0203 福島県二本松市水舟字 130-2  
 TEL・FAX 0243-46-2988 E-mail: jkwer928@yahoo.co.jp

水舟集落の自然と笑顔に触れよう  
 日 2019年1月15日  
 編 集 水舟集落  
 平塚洋太郎 監修  
 未来のフクシマに貢献されている皆様は、2018年11月25日現在のもので、  
 未来は、福島県民による、「大学生等による地域づくり支援事業」の活動を受けて作成しています。



水舟集落の自然と笑顔に触れよう  
 二本松駅から車で約 25 分

水舟集落は、自然と歴史が育まれた旧・木幡村の集落です。



①阿武隈運動場 カヌー体験  
 夏には、阿武隈カヌー大会や、カヌー教室が開催されています。シーズン時以外にも、紅葉、賞色などを楽しむことができ、季節ごとの風景を味わうことができます。



②木幡の燈籠祭り(12月上旬)  
 水舟集落の中心地木幡地区で、毎年12月の第一日曜日に行われる。960年以上続く伝統的な祭りです。白鶴を先導に色とりどりの燈籠が行列し、「日本三大焚祭りの一つとも言われています。2004年、国の重要無形民俗文化財に指定されています。



水舟集落はこんなところ！  
 水舟集落は、登山に囲まれた美しい景観、おいしい郷土料理など、里山の暮らしが感じ取れています。その水舟集落も、少子高齢化により、人口減少、登山の覚悟、地域文化の衰退など、多くの課題に直面しています。集落には、おいしい郷土料理、美しい景観や山並み・山脈などがあり、また、人情味あふれる人々があります。これが、都会の方々の体験や交流の場となるよう、①集落民会、②農林業体験として登山自然散策コース、③小学校体育館などを活用しています。水舟集落にお越しのみなさまには、自然や農林業とふれあい、登山のすそ野、癒しの空間、郷土料理、そして健康、生きがいと存分に味わっていただきたいと思います。水舟でしか味わえない暮らしの笑顔から、みなさまとWN・WINの関係を築いていけることを願っています。「水舟にきてみて～！お持ち帰り～！」  
 水舟の魅力をたくさんお伝えします！

農家民宿の人情味あふれるおもてなし。

<p><b>なりあげ</b>                  年のお祭りも体験できる民宿です。最近では珍しい4世代家族です。きれいな空気で、夜はきれいな星空を楽しむことができます。                  〒964-0203 二本松市水舟字上 43                  TEL: 0243-46-2007                  宿泊料(税込) / 4,600円</p>	<p><b>たんご</b>                  明治 25 年築の趣のある家です。太い柱や神棚が自慢！庭もぜひご覧ください。野菜の採りつけや収穫体験、オーナーとの送迎もイテオシです。                  〒964-0203 二本松市水舟字前 207                  TEL: 0243-46-2988                  宿泊料(税込) / 4,600円</p>
<p><b>さいかいせみ</b>                  自然に触れ、食に触れ、暮らしに触れ、そして人懐に癒れたら心も体も笑顔いっぱい、まずは楽しく！自分を知ることから始めよう！                  〒964-0203 二本松市水舟字 130-2                  TEL: 0243-46-2988                  宿泊料(税込) / 4,600円</p>	<p><b>よもぎた</b>                  自然豊かな里山で農具体験しながら土に触れたり、うどん打ちなどの料理を作ったりしませんか。尺八の音色を聞きながらごはんを食べられます！                  〒964-0203 二本松市水舟字水 154                  TEL: 0243-46-6100                  宿泊料(税込) / 4,600円</p>

水舟集落で感じる四季のうつろい

<p><b>水舟の春</b>                  静かな緑道・田園風景 春には、(おさんぽMAP)を以て、緑道を散策しながら、田んぼや畑等の、緑の景色を楽しむことができます。また、お花見もできます。</p>	<p><b>水舟の夏</b>                  グラウンドゴルフ大会 グラウンドゴルフは、住民の交流を促す大切な機会になっています。毎年夏にはグラウンドゴルフ大会を開催、観戦も続きます。</p>	<p><b>水舟の秋</b>                  朝のほぎ葉け風景 稲刈りのあとは、「ほぎ葉け」することで、稲を乾燥させます。秋に収穫お花との風景はとも美しく、秋の景色のひとときとなっています。</p>	<p><b>水舟の冬</b>                  お餅つき 冬にはみんな集まって、お餅をいただきます。お餅だけでなく、地元産の食材を使った、心と体のあったまるメニューがたくさんあります。</p>
<p>春の葉うめーめん 春の葉をつかった地元の特産品です。葉の葉には、高血圧の改善、腸内菌の予防など、いろんな健康効果があります。</p>	<p>冷やし 夏の暑い日、食欲が落ちないときに、そうめんなどを入れていただきます。作り方/①お湯を、なすをいちょう切りにする。②なすはアクをとる。③しょうゆ(えごま)をする。④水を加え、しょうゆ、みそを入れる。⑤しそ、みょうがをお好みで加える。</p>	<p>いかにんじん 秋から春にかけて、お正月にも欠かせないひひと高です。おかずとしても、おつまみとしても使われています。作り方/①新玉をゆで、にんじん、大根、ごぼうなどの野菜類を煮る。②火が通ったら、豚肉、白菜、しめじを煮る。③小麦粉と水でだんごをつくり、鍋に入れる。④おだし、さけ・しょうゆ・めんつゆで調味する。</p>	<p>だんご汁 冬の郷土料理です。おぼろけや寒さをいれて、夏に食べることもあります。作り方/①新玉をゆで、にんじん、大根、ごぼうなどの野菜類を煮る。②火が通ったら、豚肉、白菜、しめじを煮る。③小麦粉と水でだんごをつくり、鍋に入れる。④おだし、さけ・しょうゆ・めんつゆで調味する。</p>

お散歩 おさんぽ MAP(巻物)や、紙おさんぽMAP(巻物)を集落内に設置しています。

③小学校体育館 集落の住民の交流の場として活用しています。

**集落マップ**  
 水舟集落コース

④グラウンド グラウンドゴルフ大会をはじめとし、交流の場となっています。

⑤夏祭り 集落民だけだけでなく、集落に来られたお客さまも体験する場所です。

## 4. まとめ

### 今年度の目標

- (1)住まい方・文化の継承方法の検討 → 「水舟の未来」を住民のみなさんとともに考えるワークショップの開催
- (2)農家民宿の有効性検証、経過調査 → アンケート・ヒアリング調査の実施
- (3)掘り下げた文化や魅力の発信 → パンフレット作製・県内各施設に設置



### 今後の展望

- ワークショップ、アンケート・ヒアリング調査の実施結果から得た知見を活性化策に具体的に落とし込む
- 今後の民宿利用者の動向を見て、今回の広報活動の効果や効果が大きかった設置場所を考察